

# KG-R (KG-NET・関西圏地盤研究会) 第6期研究計画 (案)

## 1. KG-R の概要

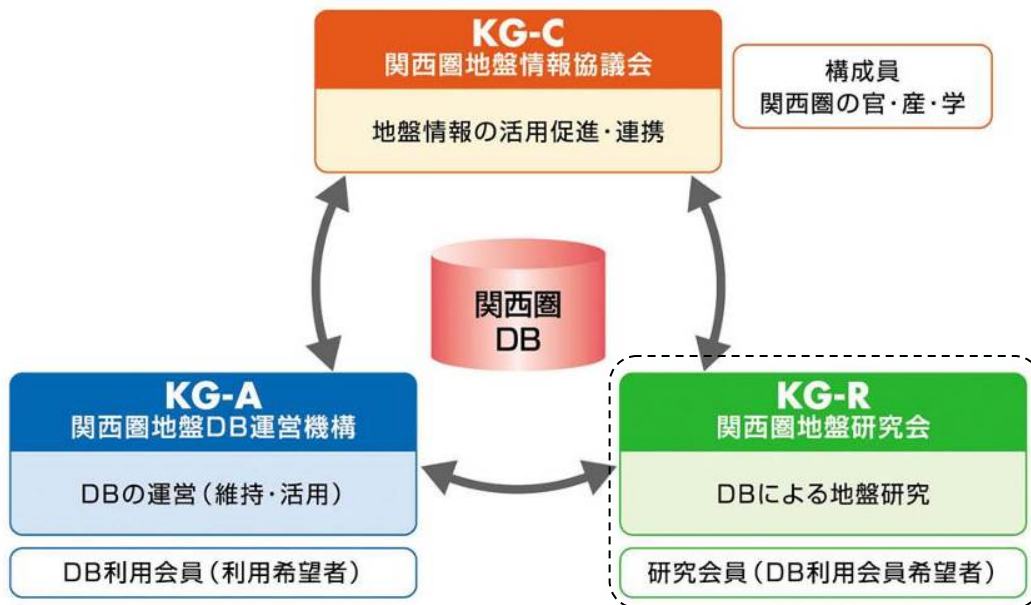
### (1) 目的と活動

関西圏地盤研究会 (KG-R) は、関西圏地盤情報ネットワーク (KG-NET) を形成する組織の一つとして、関西圏地盤情報協議会 (KG-C) 及び関西圏地盤DB運営機構 (KG-A) と協力し、関西圏地盤情報データベースを“関西圏の財産”と位置づけて、関西圏における地盤情報活用の更なる発展を担うために、次の役割を果たすことを目的としています。

関西圏地盤情報データベースの活用による地域地盤特性の調査および研究

この目的を達成するために、KG-R が行う活動は以下のとおりです。

- ① データベースによる調査および研究
  - ・ 地域地盤特性の調査・研究
  - ・ 諸機関の利用対象地下における地盤特性の検討
  - ・ 諸機関の要請による調査・研究
- ② その他、研究会の目的を達成するために必要な活動



図－1 KG-NET (関西圏地盤情報ネットワーク) と KG-R (関西圏地盤研究会)

## (2) 主催者, 運営委員, 会員

以下の執行メンバーと研究会員が研究活動に取り組みます。

### 【主催者】KG-C 学識構成員 (第6期研究体制: 2022年度~)

- 委員長 : 三村 衛 (京都大学 大学院工学研究科 教授)  
副委員長 : 三田村 宗樹 (大阪公立大学 大学院理学研究科 教授)  
運営委員 : 大島 昭彦 (大阪公立大学 大学院工学研究科 教授)  
" : 澤田 純男 (京都大学 防災研究所 教授)  
" : 勝見 武 (京都大学 大学院地球環境学 教授)  
" : 小田 和広 (大阪産業大学 工学部都市創造工学科 教授)  
" : 乾 徹 (大阪大学 大学院工学研究科 教授)  
" : 北田 奈緒子 (地域地盤環境研究所 業務執行理事)  
顧問 : 松井 保 (大阪大学名誉教授: 第1期研究委員長)  
" : 中川 康一 (大阪市立大学名誉教授: 第1期研究副委員長)  
" : 田中 泰雄 (神戸大学名誉教授: 第2期研究委員長)  
" : 岡 二三生 (京都大学名誉教授)  
" : 竹村 恵二 (京都大学名誉教授: 第3,4期研究委員長)

### 【研究会員】

- 学識委員 … KG-C 構成員 (学識員) 及び KG-R が委嘱する学識経験者  
KG-C 研究会員 … KG-C 構成員で, KG-R に参加を希望された会員  
KG-A 研究会員 … KG-A・DB 利用会員で, KG-R に参加を希望された会員

### 【事務局】

一般財団法人 地域地盤環境研究所

## (3) 研究期間

KG-R の存続とともに, 期間を区切って活動を展開します。

## (4) 研究会の運営費

研究会は, 研究会費を基本収入として運営します。

研究会費: 15万円/年間 (学識委員, KG-C 会員を除く)

## 2. 第6期研究計画

第1期研究から第4期研究までは、関西圏における都市部の平野や盆地といった地盤に関する情報量が豊富な地域を対象に地盤研究を進めました。第5期研究では、豪雨・洪水被害に着目し、地盤構造物としての河川堤防とその河川流域の防災という観点で研究対象地を絞り込み、地盤研究を実施しました。これらの研究の成果は書籍「新関西地盤」シリーズにとりまとめ発刊しています。2022年度からは、これまでの研究手法を基本とし、第5期研究の活動と同様に地盤防災という観点から“第6期研究”として地域地盤特性の研究に取り組んでいきます。

### (1) 研究期間

- ・第5期研究までの活動を継承・発展し、2022年度から取り組む。
- ・研究期間は3年間を区切りとする（2025年夏ごろに研究成果を公表）。

### (2) 活動方針

- ・これまでの研究活動の経験と成果を土台に、次の点を第6期研究の活動方針とする。
  - ① 地域地盤研究 ⇒ 地盤防災への基礎検討、成果報告会など
  - ② DB利用研究 ⇒ 地盤情報の表現法、地層分布図のリニューアルなど
  - ③ 研究成果の発信 ⇒ 論文発表など

### (3) 組織体制

- ・本研究会 KG-R<sup>\*1</sup>は、KG-C<sup>\*2</sup>学識構成員の主催により開催する。
- ・本研究会は、KG-C 学識構成員(運営委員)・顧問,KG-R が委嘱する学識委員および研究会員 (KG-A<sup>\*3</sup>・DB利用会員またはKG-C 構成員より参加を希望する委員) により構成する。
- ・なお、研究会員については、第6期研究開始に伴い、KG-C 構成員と KG-A・DB 利用会員に新規参加を募ります。

◇企画部会 ・ KG-R のコントロールタワーとして研究活動を運営・執行する。  
委員長・副委員長・運営委員 (KG-C 学識構成員)・顧問、および懸案事項等  
に關係する学識委員で構成する。年1回を基本に開催する。

◇全体委員会・研究会員が集う相互交流の場および KG-R の総会として開催する。  
KG-R に参加する全メンバーで構成する。年1回を原則として開催する。

◇研究部会 ・ 関西圏地盤情報データベースに基づく地盤研究を行う。  
学識構成員・学識委員および研究会員で構成し、適宜、開催する。  
部会として【地域地盤研究部会】と【DB 利活用研究部会】を設置し、地盤  
研究や DB 利活用の研究に取り組む。

◇勉強会 ・ 研究会員を対象に、基礎から最新情報に至るまでの【講座】を開催する。

◇事務局 ・ KG-R の運営事務（経理、会議設定・準備など）を補佐する。  
（一財）地域地盤環境研究所（GRI）が務める。

---

※1 KG-R : KG-NET・関西圏地盤研究会（本研究会/KG-C 学識構成員が主催）

※2 KG-C : KG-NET・関西圏地盤情報協議会（関西圏地盤情報DBの管理組織/官・産・学の構成員よりなる）

※3 KG-A : KG-NET・関西圏地盤DB運営機構（関西圏地盤情報DBの運用組織/DB利用会員よりなる）

#### (4) 研究部会

##### ① 地域地盤研究部会

- ・第5期研究と同様に自然系の堆積構造および堤防などの人工構造物を合わせた地盤研究を実施する。
- ・ボーリングや物理探査などの地盤情報を収集し、これからの地盤防災に寄与する基礎検討を行う。また、線状構造物に影響を及ぼす断層変位問題なども視野に入れる。
- ・部会内に適宜WGを設ける。
- ・最終成果として、研究成果報告会の開催を目標とする。

##### ② DB 利活用研究部会

- ・地盤データの整理や解釈する際に有用な資料へつながる内容を目指し、地盤情報の新しい表現方法等を検討する。
- ・ボーリング情報の追加による関西地層分布図のリニューアルを行う。
- ・「関西圏地盤情報ライブラリー」の更新・拡張として、空白部へ補間、過去の研究で取り組んだ神戸地域等地盤モデルの追加など、広域的な関西圏の地盤研究と地域連携に取り組む。
- ・部会内には、必要に応じて研究WGを設置する。
- ・関西圏地盤情報データベースとKG-NETの活動が、社会的に認知されることも視野に置く。

#### (5) 勉強会：講座－地盤に触れて基礎知識を学ぶ－

- ・一般研究会員（特に若手）を対象に、基礎から最新情報に至るまでの【講座】を開催する。
- ・年4回程度の開催で、会員の自由参加（事前登録制）とする。
- ・KG-Rの研究成果の解説をはじめ、会員の要望の高い内容をテーマとする。
- ・講師は、主に学識委員が務め、必要に応じて外部講師を招聘する。

(6) 実施体制 (案)

【委員・担当者】

※敬称略

<p>KG-C 学識構成員 (KG-R 主催者)</p>	<p><b>【研究企画部会】</b>          委員長 三村 衛 顧問 松井 保          副委員長 三田村 宗樹 顧問 中川 康一          運営委員 大島 昭彦 顧問 田中 泰雄          運営委員 小田 和広 顧問 岡 二三生          運営委員 勝見 武 顧問 竹村 恵二          運営委員 澤田 純男          運営委員 乾 徹          運営委員 北田 奈緒子</p>
<p>KG-R 学識委員</p>	<p><b>【地域地盤研究】</b>          委員 片岡 沙都紀          委員 木元 小百合<sup>1)</sup>          委員 東原 純          委員 関西地質調査業協会委員          委員 鋏田 泰子          委員 後藤 浩之          委員 澤田 茉伊          委員 澤田 豊          委員 肥後 陽介          委員 古川 愛子          委員 山田 卓          委員 岩井 裕正          委員 藤原 照幸          委員 伊藤 浩子</p>
<p>研究部会・ WG</p>	<p><b>【地域地盤研究部会】</b>          部会長： 肥後 陽介          副部会長： 鋏田 泰子 担当：水谷 光太郎  <b>【DB 利活用部会】</b>          部会長： 山田 卓          副部会長： 後藤 浩之 担当：白川 和靖  <b>【勉強会】</b>          主査：乾 徹          幹事：白川 和靖</p>
<p>一般研究会員</p>	<p>KG-C 構成員 (KG-C 研究会員) または KG-A・DB 利用会員 (KG-A 研究会員) より参加を希望する研究会員</p>

1) 大阪産業大学

【運営・執行】

	構成するメンバー	位置づけ
研究企画部会	委員長・副委員長・運営委員・顧問，研究部会長・副部会長，および懸案事項等に関する学識委員	運営会議
全体委員会	委員長・副委員長・運営委員・顧問，学識委員，KG-C・KG-A 研究会員の全メンバー	総会
研究部会・WG	部会長・副部会長，運営委員・学識委員 KG-C・KG-A 研究会員の参加希望者	研究活動
勉強会	主査・幹事，KG-C・KG-A 研究会員の参加希望者	学習活動

# KG-R (KG-NET・関西圏地盤研究会)

## 第6期研究の組織体制

